

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

国土交通

2013.8-9

特集

建設産業の現状と未来への展望

No. 121

UN WATER
世界水の日
2013
国際水協力年

安全・安心な水のために



第37回

8月1日は 8月1日～7日は
「水の日」「水の週間」

水は限りある貴重な資源です。

「水の日」「水の週間」に関する行事等の情報は、国土交通省ホームページもしくは独立行政法人水資源機構ホームページをご覧ください

水の週間

検索

国土交通省・都道府県・水の週間実行委員会

[特集]

日本社会・地域経済を支える

建設産業の現状と 未来への展望

「建設産業」と聞いてどのような仕事をイメージしますか？

「ビルの建設や道路工事などの土木作業」を思い浮かべる人が多いのではないのでしょうか。

でも実は、とても多くの職種があり、その一つひとつが地域の雇用・経済を支えたり、
災害対応を行ったり、身近で重要な役割を担っているのです。

今号の特集では、今の建設産業界が抱える課題と展望についてご紹介します。



建設のしごと
エトセトラ

・鋼構造物工事業
・金属製建具工事業
・ガス圧接工事業
・塗装工事業
・左官工事業
・防水工事業
・とび工事業
・電気工事業
・消防施設工事業
・内装仕上工事業
・空調衛生設備工事業
etc.

POINT

「巨大」と発表されたら、非常事態
ただちに高いところを目指して避難を！
高い津波が来る前は、
津波の高さを「観測中」と発表
津波警報が解除されるまでは、
後から来る津波への警戒をゆるめないで！

気象庁

津波警報の改善

検索

<http://www.jma.go.jp/>

津波警報が

変わりました

津波から
命を守るためには、
すぐ避難！



お知らせ

CONTENTS

特集 日本社会・地域経済を支える 建設産業の現状と未来への展望

01 総論	建設産業の現状と支援のあり方	4
02 地域の建設業	建設企業の連携による新事業開拓	6
03 震災対応	建設業者による震災時の知られざる功績	8
04 人材育成・就労支援	若年者の就業促進・新入社員の育成事業	10
05 海外展開	建設・不動産企業の海外展開を支援	11

業務密着ルポシリーズ 現場力 FILE 22 四国運輸局海上安全環境部 運航労務監理官 12

シリーズ探訪・探究 訪れたいまち 第20回 北海道河東郡上士幌町 16

教えて! 国土交通省	地図について学ぶには?	20
近未来研究室 FILE 01	海上技術安全研究所	21
特別編 海の駅	わからない海の駅	22
MLIT NAVI		23

国土交通

No.121

MLIT

2013.8-9

平成25年7月発行 (隔月発行)

●編集発行：国土交通省 大臣官房広報課／〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3
TEL.03-5253-8111 (代表) ホームページ <http://www.mlit.go.jp/>
●編集協力：日経印刷株式会社

本誌の掲載文で、意見を述べた部分については、
執筆者の個人的見解であることをお断りいたします。
また、本文記載記事の無断転載を禁じます。



【特集】 日本社会・地域経済を支える 建設産業の現状と 未来への展望

01 総論

日本の地域社会を支える 建設産業の現状と支援のあり方

急激な投資減少で懸念される 建設産業の疲弊と将来への不安

日本では、建設産業に携わるほとんどの事業者が地域を基盤として事業を行っています。道路や橋、河川など社会インフラの整備・維持・更新の担い手となり、災害時には初動対応から応急・復旧作業に至るまで、現場の最前線で重要な役割を果たしてきました。多くの企業が国や地方公共団体と災害協定を結んでいることを考えても、各地域の建設産業は日本と地域社会の安全・安心を支えてきた、まさに「国土の守り手」といえるでしょう。

しかし現在、市場環境の変化とともに、建設産業は急速に疲弊しつつあります。公共・民間ともに建設投資は減少の一途をたどり、平成24年度にはピーク時（平成4年度）の半分近くにまで落ち込みました。

ち込みました。価格競争による受注競争が激化するなかで、受注高の減少やダンピング受注が企業の利益率を押し下げています。その影響は下請けへのしわ寄せや賃金低下へと広がり、就業者を取り巻く労働環境の悪化によって、技術者・技能者の減少や高齢化が進みました。現在は就業人口のうち、55歳以上が3割を超え、29歳以下は約1割にまで落ち込んでいます。この状況が続けば、少なくとも10年以内には技能労働者の不足が恒常化することは間違いありません。特に地方では事業者の小規模化が著しく、事業の存続すら危ぶむ声が上がっています。

このままでは、現場の施工機能が低下し、将来にわたる技術継承が難しくなるだけでなく、社会インフラや災害対応の担い手として地域を支えることも困難になるのではないかと懸念されています。

建設産業をよみがえらせる 4つの理念と方向性

こうした事態を受け、国土交通省では次の4つの視点から建設産業の活性化策を講じ、取り組みを進めています。

- 1 公共事業の入札において個別の品質だけでなく、地域社会における中長期的な担い手を確保すること
- 2 企業の評価・選定理念の明確化と行き過ぎた競争を是正すること
- 3 時代のニーズに柔軟に対応するため、必要に応じて官民が協力し、適宜役割を分担すること
- 4 建設産業の構造的な問題を受けて、元請から下請の技能労働者まで施工体制全体の持続可能性を確保すること



土地・建設産業局
建設業課 課長補佐
南 衛

「これら4つの視点を理念とし、さらに「多様な入札契約方式」「ダンピング対策と適正な価格での契約」「人材の確保と育成」「地域インフラの維持と将来的な品質確保」の4つの方向性を意識しながら具体的な施策の検討・実施を進めて

います。例えば直近では、健全な入札及び過剰な競争の抑制を目的にした「低入札価格調査基準の引上げ」や建設労働者の不足状況や賃金の上昇に合わせた「平成25年度公共工事設計労務単価の

引上げ」などの措置を行いました。また、平成25年4月18日には、国土交通大臣から建設業団体に対して、適正価格での契約、適切な水準の賃金支払いなどを徹底するよう、要請を行いました。ほかにも、福利厚生への働きかけや、若年層の入職促進を目的とした戦略的な広報など、さまざまな施策を積極的に展開していきます。

地域に根ざした建設産業支援で、 安全・安心に暮らせる社会へ

このような具体的な施策を考える上で、近年、私たちが特に強く意識しているのが「地域インフラメンテナンス」という考え方です。新たなものを造るだけでなく、既に地域にあるものを維持・管理する担い手として建設産業をとらえ、支援しようというわけです。

その支援策の一つが平成23年から2年間に渡って実施した「建設企業の連携によるフロンティア事業」です。地域の企業体の連携により、介護や環境保全など、地域の課題を解決する新規事業を立ち上げ、雇用促進や地域活性化につなげることを目的としたもので、91組が助成を受けました。本誌6～7ページでその一部を紹介しているように、地域の特性を活かした事業が数多く花開

建設産業の活性化に向けた4つの検討の方向性

1

時代のニーズや事業の 特性に応じた多様な入札契約 方式の導入と活用

- 建設企業のノウハウを最大限活用するための方式
- ダンピングや下請・職人へのしわ寄せ防止に資する方式
- 入札手続きの各段階における企業評価のあり方 など

2

ダンピング対策の強化、 適正価格での契約の推進

- 低入札価格調査基準の引上げ
- 必要な経費や賃金が支払われる適正な価格での元下請契約 など

3

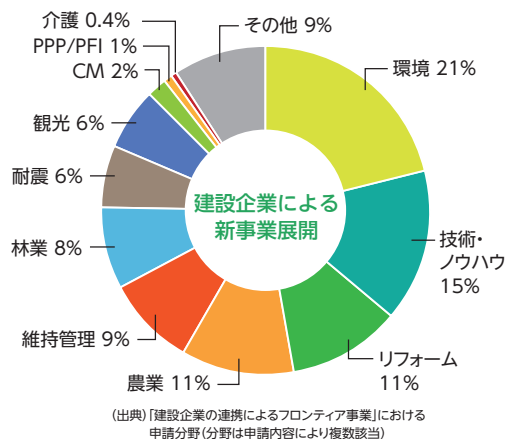
現場を支える技術・ 技能者の確保・育成

- 若手の技術者や技能労働者の確保・育成方策
- 平成25年度公共工事設計労務単価の引上げ
- 若者の入職促進などに向けた戦略的広報 など

4

地域のインフラメンテナンス、 災害対応などの的確な確保、 将来的な品質確保

- 維持管理事業（地域維持事業、構造物の長寿命化対応など）の適切な推進のための方式
- 建設機械の取得促進 など



き、建設産業の活性化とともに地域貢献の面からも大いに期待されています。この支援事業は平成24年12月で終了しましたが、「建設企業のための経営戦略アドバイザー事業」では、平成24年までの経営相談に加えて、技術者による相談や資金の助成などの支援策を強化し、平成25年度も募集を行います。

このような「取り組みの種」をタイムリーに時きながら、前述したような入札契約制度や労働環境など産業を育む「土壌」を地道に改革し続けていくこと。

この両面からの支援・施策を通じて、地域を支える建設産業の活性化を図り、誰もが安心して暮らせる国土づくりを推進していきます。



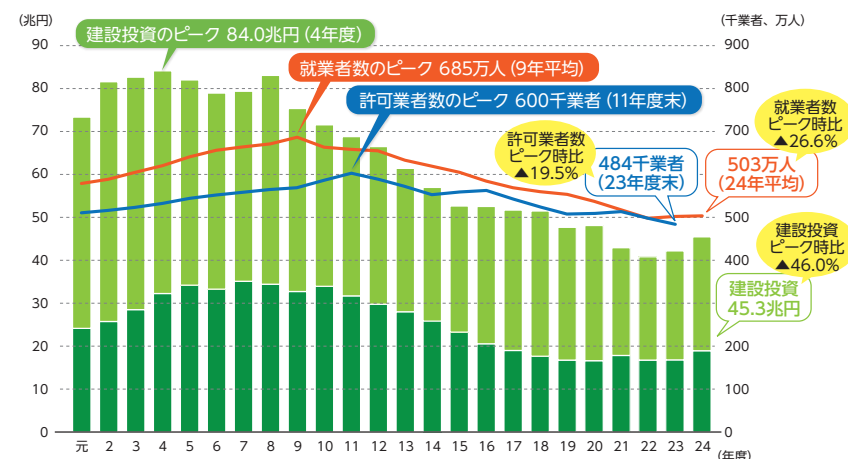
急速に疲弊しつつある建設産業

（建設投資、許可業者数及び就業者数の推移）



- 注1 投資額については平成21年度まで実績、22年度・23年度は見込み、24年度は見直し
- 注2 許可業者数は各年度末（翌年3月末）の値
- 注3 就業者数は年平均。平成23年は、被災3県（岩手県・宮城県・福島県）を補完推計した値について平成22年国勢調査結果を基準とする推計人口で過及推計した値

出所：国土交通省「建設投資見通し」・「許可業者数調べ」、総務省「労働力調査」





【特集】
日本社会・地域経済を支える
建設産業の現状と
未来への展望

02 地域の建設業

建設業の活力再生を目指し 建設企業の連携による新事業開拓

セントラル建設株式会社(岐阜県)・協栄建設株式会社(京都府)

国土交通省では、建設企業の連携によるフロンティア事業(※)で、建設企業が連携体をつくり、新たな事業を生み出せるよう支援しています。中でもユニークな取り組みを行う2社を紹介します。

セントラル建設 岐阜県恵那市

建設と介護の「複業化」によって きめ細やかな「安心」を提供する

豊かな田園風景が広がる岐阜県恵那市。セントラル建設はこの地域で、昭和36年から土木・舗装工事を中心とした建設事業を手掛けてきましたが、公共工事の減少により需要が低迷。新規事業を模索した結果、今後増加が見込まれる在宅介護者向けの事業へ。

車椅子やベッド、手すりなどの介護用品のほとんどは、レンタルすることで介

護保険から9割が負担されます(介護度の認定によって上限額は異なる)。そこで平成18年、介護用品レンタル事業を開始。すると自然とリフォーム注文が舞い込むように。在宅介護を行う場合、段差の解消や車椅子が通れる廊下への改修、お手洗いへの手すり設置など、介護のためにリフォームをする必要が出てくるのです。現在は介護用品レンタル利用者の約4割からリフォームを受注するまでに成長。この相乗効果を、同社代表取締役社長の阿部伸郎氏は「建設と介護の複業化によるもの」と説明します。



代表取締役社長・阿部氏

「建設業者として地域で培った信頼感、介護用品レンタル事業の基盤となりました。さらに介護用品を通じてお客様の「生活」に寄り添うことで、的確なリフォームの提案が可能になり、声もかけていただきやすくなったようです」

地域密着型の事業展開について 全国に向けた コンサルタント事業を開始

同社に介護用品の発注を行うケアマネージャーの西尾さんは、「介護に関するリフォームには



西尾さん

いので、建設技術と介護知識の両面から見た提案には私たちも学ぶことが多いです」と建設と介護の両面を持つ利点を実感されています。夫を介護中という藤田さんも「担当



ベッド脇や岩風呂に設置された手すりにご満悦の藤田さんと同社営業の中山氏

さんが孫のように話を聞いてくれるのがうれしい。無理だと思ったところにも手すりをつけてくれて驚きました」とベッド脇や岩風呂の手すりを指して満足されている様子。ほかにも、細い室内通路を通れる車椅子を探してもらったり、きめ細やかな対応に感謝しているそうです。

「地域との絆を軸に、人々の暮らしの課題を解決する企業になりたい。ですからほかの地域でこの事業を展開するつもりはありません。ノウハウを全国の建設企業に提供し、建設業に元気を与えたい」と阿部氏。この取り組みに関心を持った建設業者が、全国各地から訪れているそうです。

協栄建設 京都府綾部市

土木技術を駆使した林道整備で 京都の豊かな里山をよみがえらせる

京都の水源といわれる綾部市の里山。過疎化や林業の低迷により、十分な手入れがされず、荒れた山も少なくありません。しかし、木材自給率向上を掲げる国の施策を受け、新たなビジネスチャンスも生まれています。そこに可能性を見だし、手を挙げたのが、府内で建設業を営む協栄建設でした。

「京都で活動するわれわれには、林業との連携は自然なことでした。情報収集のため専門家と交流するうちに、当社の土木技術が里山の森林再生に大きく貢献できると実感したわけです」と、この事業の責任者である専務取締役の今西恵一氏。専門家を招き、山から木を切り出すための専用道となる森林作業道を開設するオペレーターの林猛氏を育成し、山全体をデザインする森林部門技術士の仲矢順子氏を採用しました。仲矢氏に案内され、実際に整備している山へ入ると、細い木が密集し折れ重なる



開設された森林作業道

木の太い部分は
木材市場へ



放置されている細い間伐材で基礎地盤補強工法を開発中



る荒れた場所と、太くのびやかな木の多い場所があることに気付かれます。「密度の高い人工林では、調査や間伐など、人の手が入ることが必要なのです。まずはそのために不可欠な林道を今後5年間かけて網の目状に造成していきます」

多様性に富む里山の価値を模索し、 先の長い山の未来を創造する

長い停滞期を経た里山を再生するのは並大抵のことではありません。それだけに山の所有者との協議は大変重要です。協栄建設では、平成24年に山の一部を借りる形で試験的に林道を整備。所有者である社団法人志賀郷和会会長木枝幹治氏は「これなら任せ

られると思った」と振り返ります。

「調査によって珍しい木の存在や植生分布が明らかになり、所有者である私たちも山の森林が資源として価値のあるものだということに再認識しました。山の再生は先が長い。子や孫の時代にその価値を最大化できるよう、このプロジェクトには期待しています」

森の中では道を切り拓くショベルカーと運搬用に枝を切り落とすチェーンソーの音が響き、鮮やかな赤土の上を丸太を積んだ木材運搬車が進んでいきます。木材市場での国産材の流通促進や、間伐材として切り出された木の有効活用など課題は多く残ります。また100年単位という事業の端緒にいたばかり。協栄建設の挑戦は続きます。

各社の フロンティア事業 概要

協栄建設株式会社

建設会社1社、鉄筋会社1社と共に林建共同体を設立。

- 雇用…森林作業道開設オペレーター7名育成、森林技術士1名雇用
- 成果…森林施業技術者育成訓練(1年間368名受講)、森林作業道整備 6.1km、間伐面積 26ha

※建設企業の連携によるフロンティア事業(平成23～24年度) ……建設企業が連携し、技能者などを新規雇用することで維持管理、エコ建築、耐震、リフォームなどの成長が見込まれる市場の開拓を支援する事業。要件:① 建設企業2社以上の連携体であること。② 予定事業期間内に技能者、技術者、若年者などの人員を1名以上雇用し、事業期間終了後も継続雇用の見込みがあること。

セントラル建設株式会社

雇用拡大を図り、さらに「建設と介護の複業化モデル」を広めるために、建設企業1社と他業種を加え「チーム Life Care」を設立。

- 雇用…介護資格者3名、住宅事業2名雇用
- 建設需要…介護用品レンタル利用者の増加と比例して、介護及び一般リフォーム受注の増加
- 全国展開…ビジネスモデルの紹介により全国5社が同様の事業を導入(平成25年6月現在9県11社)。現在も事業モデルを学ぶ地方からの視察を受け入れている。



【特集】
日本社会・地域経済を支える
建設産業の現状と
未来への展望

03 震災対応

誰よりも早く救助・救援の道を啓いた！
被災3県の地元建設業者による
震災時の知られざる功績



平成23年3月の東日本大震災。あの時、消防や自衛隊が被災地に入る前、瓦礫でふさがれた道を切り啓き、車が通れるよう応急復旧（道路啓開※）に力を尽くしたのは地元の建設会社でした。実際に現地で作業を行った、岩手、宮城、福島県の建設業者6社に当時のお話を伺いました。



岩手県

株式会社青紀土木 釜石市

社屋が津波の被害に。
震災3日目から復旧作業

甚大な津波被害を受けた釜石市。同社も社屋が津波の被害を受けましたが、岩手県と、同社が加入する岩手県建設業協会が防災協定を結んでいたため、震災3日目には道路啓開作業を開始。「会社にあつた車や重機は使い物にならない状態でしたが、たまたま津波の被害を受けなかった新日鐵（現・新日鐵住金）釜石製鉄所でも作業を行っていて、一部の重機と車が無事だったのです」（青木代表取締役）。連絡手段は通信設備が復旧するまでは徒歩によるものでした。遺体捜索をしながら瓦礫撤去を行い、作業は震災から半年以上経た同年10月まで続きました。



釜石市内の商店街。多数の重機が入り、緊急車両が通行できる車線の確保を行った。

株式会社明和土木 大船渡市

震災当夜、復旧作業依頼。
重機は流されたが、人員協力で

大船渡市も津波の被害が大きかった地域。高台にあつた本社屋は無事でしたが、低地にあつた資材倉庫は重機も含め、すべて流されました。しかし、震災の夜、午前1時半に、同社社長の



重機を持つ他社と協力して復旧作業に当たった。

I W A T E

※道路啓開……緊急車両などが通行できる状態にするため、1車線でも通れるよう、早急に最低限の瓦礫処理を行い、簡易な段差修正により救援ルートを啓くこと。

宮城県

株式会社橋本店 仙台市青葉区

3日かけた道路啓開作業。
自衛隊の救助活動が始まる

同社は、震災の翌朝には主要道路の段差部分に土のうを並べ、安全に通行出来るよう応急処置を行いました。さらに東北地方整備局職員より、南三陸町戸倉地区から志津川へ至る国道45号の啓開作業要請が。「現地は津波による瓦礫で人も通れない状態。撤去中は、遺体を発見することもあり、重機の扱いも慎重に行いました」（佐藤常務取締役）。3日後、啓開作業を終えた道路から自衛隊が次々と戸倉方面に現地入りし、本格的な救助活動が始まりました。撤収の際には地元の方から感謝の声をもらい、建設業の果たす役割を実感したとのこと。

また他県への燃料輸送では、ガソリンを入れる携行缶や汲み取るポンプなどの物資も足りず、非常に苦労されたそうです。



津波により橋脚から落ちた線路を切断しながら撤去。



火葬場も被災したため仮埋葬を行った。ショベルカーでの埋葬はしのびないということで、土は遺族の方々にかかかせていただき、共に心から弔った。

M I Y A G I

福島県

堀江工業株式会社 いわき市

支部会員各社と行った復旧。
瓦礫撤去には精神的な負担も

同社代表の長谷川氏は福島県建設業協会いわき支部の支部長も務めています。会員各社が行った啓開作業を含めた応急復旧工事は震災直後からの3日間だけでも約60〜70カ所に及びました。「緊急時の委託工事契約を市と結んでいたため、すぐに復旧工事に入り、道路と橋の段差解消などの工事を行いました」（長谷川社長）。

啓開作業は家の瓦礫を取り除きながら、行方不明者の捜索も行ったとのこと。10日間ほどの作業では、遺体を掘り起こすこともあり、現場の方々の精神的な負担は相当なものでした。神経を使う慣れない作業に、開始2〜3日は夜も眠れなかったそうです。



被害を受けた建物を解体。震災前は人が利用していたものを瓦礫として処理することにやりきれない思いも。

石川建設工業株式会社 南相馬市

原発事故後の警戒区域内で、
地域の復興を目指す

福島第一原発から20km圏内にある同社は、震災直後から自主的に地域の被害状況を県に報告しました。翌日から県と市の委託を受け、瓦礫の撤去作業に。しかし14日、3号機が水素爆発。「屋内退避命令が出ましたが、まだ啓開作業中。関係機関に確認し、重機のキャビンが屋内」という判断で作業を進めました」（石川社長）。

現在は海岸付近の応急復旧を手がけ、平成26年から始まる海岸の堤防復旧を目指していますが「福島は原発の影響で、ほかの地域より2年は遅れている。資材も人も足りない」。平成25年5月、福島県建設業協会を中心に生コンプラントの合同会社を設立。9月出荷に向けて動き出したところ。「状況は厳しいが、地場セネコンが頑張らなければ」と、日々奮闘されています。



平成23年4月8日。避難指示発令後、原発20km圏内での初めての作業。防護服に身を包み、十分に打合せを行う様子。

F U K U S H I M A



【特集】 日本社会・地域経済を支える 建設産業の現状と 未来への展望

04 人材育成・就労支援

若年者向けの就業促進・ 新入社員育成事業を通して、 建設業への理解と定着を図る

愛知県建設業協会／富士教育訓練センター

就業者数の減少は、業界が抱えている大きな問題です。若年者の就業促進や育成、就労者のキャリア教育にいち早く取り組んでいる2つの団体に、活動について伺いました。

愛知県建設業協会

県内の工業高校へ出前授業。 保護者向けの現場見学会も実施

県内の工業高校生・専門学校生に対する入職促進事業や、業界に入ったばかりの若手社員向けの定着促進事業に積極的に取り組んでいます。

入職促進事業では、現場見学会や職業体験の実施など幅広く啓もう活動を実施。平成21年からは、県内にある工業高校4校の1年生を対象に、専門家を招いて出前授業も行っています。生徒たちから「建設業にもいろいろな職種があることがよく分かった」「興味が湧いた」と

いう感想もあり、進路の選択肢の一つとなってきたようです。

最近では、保護者向けの現場見学会や工業高校の先生に建設技術の講習会も行っています。親御さんや先生方に建設業への知識と理解を深めていただき、建設業を希望する学生たちの後押しになつてくれればと考えています。



工業高校の先生方向けの講習会で鉄骨の組み立てを行う様子。

このほか、入社2～5年目の社員を対象とした若手社員能力向上研修会も毎

年開催。当協会会員のアンケートによると、入社1～5年での離職率がとても高く、理由の一つに人間関係の悩みがあることが分かりました。現場では、発注者との交渉、住民の方々とのお付き合いなど、交渉力やコミュニケーション力を必要とする場面がたくさんあります。研修会では、円滑に業務を遂行できるよう、マネジメント能力の向上に重点を置いています。

今夏には新たな事業として、建設業簿記を理解し、決算などに関する初歩的な実務を行うことができるようになる



保護者に対する説明会。

「建設業経理事務士検定」の特別研修を高校生向けに開催。5校250人程度を対象に行う予定です。

また、技能や技術の修得だけでなく、人間的にも成長してほしいと考え、道德の授業も行っています。寮での共同生活は、人とコミュニケーションを図る上でも大いに役立っていると思います。

これからは、若年者向けの教育にも力を入れていきます。まず手始めに埼玉県工業高校300名を対象に、職に対する講座を行う予定です。



寝食を共にしてコミュニケーションを図る（食堂の様子）。

富士教育訓練センター

「ものづくりは人づくり」という信念のもと道徳教育も取り入れる

優れたものづくりはまず「人づくり」からという強い信念のもとに開校した、建設技術者・技能者の教育訓練施設です。初心者向けから中級・上級者向けに、技術コース、技能コース、多能工コースなど15コースあり、それぞれの現場で必要な知識や資格を、寮生活を送りながら修得していきます。現在では、全国各地から、年間約1万人が受講しています。受講者のほとんどが入社間もない社員か、これから建設会社に入社する学生。修了時には、「建設業界で働いていく決意が固まった」「やていく自信が付いた」という声も多く聞かれるようになります。

【特集】

日本社会・地域経済を支える 建設産業の現状と 未来への展望

05 海外展開

建設・不動産企業の 海外展開を支援しています

土地・建設産業局 国際課

世界のインフラ需要の拡大と 求められる官民一体の営業活動

新興国の経済成長とともに世界のインフラ需要が急速に拡大しています。中でもアジアの成長は著しく、2010年からの10年間で8兆ドルを超えるインフラ需要が見込まれています。日本も成長戦略の一環として、積極的な市場参加が求められていますが、残念ながら受注実績において欧米や中国・韓国などの競合企業に大きく水をあけられているのが現状です。そこで、今後の巻き返しを図るための施策が、官房長官を議長とする「経協インフラ戦略会議」で検討されています。

2013年3月の同会議設置以降、同年5月に開催された第4回会議までに課題の洗い出しや戦略策定が行われ、2020年に日本企業のインフラシステム受注総額を30兆円（現状10兆円）とする目標が掲げられました。この会議で



論じられた具体的施策の第一の柱は、首相を筆頭としたトップセールスや経済協力の戦略的展開などの「官民連携の推進」です。建設業についても例外ではなく、日・

カターインフラセミナー（写真）などを通じて、2022年FIFAワールドカップ関連のインフラ整備事業に日系建設企業が参入できるよう継続的な働きかけを行うなど、官民一体となったトップセールスを展開しています。

海外建設・不動産市場の環境整備や 企業の海外展開を後押しする 情報提供体制の充実

世界市場に対する日本最大のセールスポイントは「技術力」であり、これまでは建設・プラント事業の受注といった

「川中」での取り組みに力を注いできました。しかし、インフラの海外展開を進めていくためには、「川上」である案件発掘・形成段階からプロジェクトに入り込むこと、運営・維持管理段階である「川下」の市場に参画していくことが重要です。そこで、日系企業進出国への専門家派遣や法制度整備の支援など、海外におけるビジネス環境を整えるとともに、国内外の人材育成、国際標準の獲得や認証基盤の強化など多角的な支援を始めています。

こうした総力戦ともいふべき海外展開支援に対して、国土交通省も組織体制を強化し、さまざまな施策を打ち出しています。その一つが2013年4月1日に設置した土地・建設産業局「国際課」です。同局の国際関係事務を集約させ、国際交渉を通じた海外建設・不動産市場の環境整備や建設・不動産企業の海外展開支援など、国際案件に関する政策面の司令塔としての役割を担

わしました。このような体制のもと、海外市場で拡大している「パブリックプライベートパートナーシップ（PPP）事業」（※）への建設企業の参画戦略に関する検討、東南アジアを中心とする国・地域の建設業関連制度や市場に関する情報を提供する「海外建設市場データベース」の整備などに取り組んでおり、今後も建設・不動産企業に対する支援策を充実させていきます。

インフラシステム輸出において、建設・不動産業はけん引役の一つであることは間違いありません。その意義を改めて認識し、建設・不動産企業の海外展開をより積極的に支援していきます。

※パブリックプライベートパートナーシップ（PPP）……公共サービスの提供に民間が参画する手法で、民間資本や民間のノウハウを活用し、効率化や公共サービスの向上を目指すもの。

「海外建設市場データベース」
http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/kokusai/kensetsu_database/



船員の労働環境向上を図り、 日々、船の安全な航行を見守る

多くの定期船や貨物船が行き交う狭い海域で、
船の労働基準監督官ともいえる運航労務監理官の監査に密着しました。



狭い海域を大小の船が
行き交う瀬戸内海

海域の狭い瀬戸内海。特に香川県高松市付近の海域は、東西を行き来する備讃瀬戸東航路や、離島発着の航路が無数に通っています。また、浅瀬や岩礁、養殖の筏も多く、狭い海域がなおさら狭くなり、その中を、旅客船、貨物船、漁船などが日夜行き交う、海上交通の難所ともいえるところです。

このような環境下で、船の安全な航行を確保するため、船員の労働基準、安全衛生、運航管理などを常時監査しているのが運航労務監理官です。四国運輸局海上安全環境部では、5名の運航労務監理官が業務に当たっています。



高松の四国運輸局前にて。
運航労務監理官は5名在籍する。

定期的な船員労務監査を
行うことで、船員災害を防止

運航労務監理官の主な監査業務は、大きく二種類あります。一つは「運航管理業務監査」。海上運送法や内航海運業法に基づいて、船の安全な航行を確保し、運航管理が正しく運用されているかについての監査です。船舶を運航する事業者には、事故を未然に防ぐため、安全管理規程の作成を義務付けており、これが正しく設けられているか、また、守られているかなどを調べます。もう一つは「船員労務監査」。船員法などにより定めている労働時間や給与などの労働条件が守られているか、船員の安全で快適な労働環境が整備されているかについて監査します。陸上でいう労働基準監督官の業務です。

船員労務監査は通常監査、海難発生時監査などがあり、常時行う通常監査は、前回の監査から6カ月以上経った船舶や事業場に赴き実施します。船舶の場合、基本的には停泊中に行うことが中心となるため、旅客船では、荷物の積み下ろしなどの荷役中で乗組員が作業していたり、停泊時間が短いことも多く、限られた時間の中で、ポイントを押さえた監査をしなければなりません。今回は、高松港と小豆島土庄港を結ぶ運航中の旅客フェリー、

運航労務監理官 による監査・評価

運航管理業務監査

海上運送法・内航海運業法に基づき、以下を実施。

- 安全管理規程の審査
- 運航管理業務に関する監査
- 事故時の原因究明及び処分 など

船員労務監査

船員法などに基づき、「船員労務官」として以下を監査。

- 労働条件
- 発航前検査・船員の職務要件
- 安全管理・衛生管理・安全教育 など

その他

- 海技資格・船員派遣に係る検査
- 重大事故などの対応
- 運輸安全マネジメント評価

片道1時間という短い時間での乗船監査に同行しました。

13時40分 乗船。まずは操舵室へ。船長立ち会いのもと、船に関する基本的な情報を確認していきます。船の戸籍とも言える船舶国籍証書、車の車検証に相当する船舶検査証書、船員の免許である海技免状などです。また、船が出航前に行わなければならない「発航前検査」が行われているかどうか記録簿で確認します。船舶では、設備、燃料や食料、水、医薬品、航海に必要な図誌などがそろっていること、乗組員が全員そろい、健康であることなどを船長が出航前に検査することになっています。このほか多くの検査を行い、航海の概要や点検整備、訓練の状況などの情報を記録する公用航海日誌などに記載していく作業が繰り返されています。その検査と記録が適切に行われているか、運



操舵室に用意された書類を短時間で確認する。

まずは書類チェック!

航労務監理官が、さまざまな書類で確認していくのです。

書類確認の重要性について、「海は陸と違って、船上で不具合が起きてもすぐに助

ただいま、船内巡視中！



「消火栓」「火気厳禁」「非常の際の心得」といった表示や
掲示物がきちんと設置されているか指さし確認を行う。

けが来るような状況ではありません。検査項目は多いですが、乗客・乗員の命を危険にさらさないためには、検査と記録がとても重要なのです」(泉)。

船長に海の状況なども確認。5月末に行った今回の監査では、「いつもよりうねりが多いし、霧が出ているのが気になる」という情報。高松市付近の海上は、4月から6月頃にかけて、霧の発生が増え、視界の悪さから、海難事故が発生しやすくなります。さらに暖かい春になると、居眠り事故も増える傾向にあります。「気象条件や航行中の海の状況を船員が正確に把握し、船が安全な状態で運航されているかを確認することも大変重要なことなのです」(泉)。

船内巡視で 掲示物や表示を確認

14時10分 書類チェックを終え、操舵室から船内へ。次は、乗組員と一緒に船内が船員などにとって安全な状況にあるか確認するため、巡視に向かいます。決められた巡視経路に従って、船内のさまざまな箇所や安全上の問題がないか、掲示物や注意喚起の表示を指さし確認しながら回ります。今回監査の対象となったフェリーは全長71.8m。大きな船舶では180mほどになることも。船首から船尾までの

新航路を チェック



海図を広げ、申請された新航路に問題がないかチェックするのも、運航労務監理官の業務の一つ。

く走るので、それだけに船の検査は重要となっています。その検査記録についても念入りにチェックをしているのです。

検査や監査だけでは 防げない海難事故 事故が起きれば夜中でも監査に

「監査の結果、書類が足りないといった不備を見つけることもあります。その場合、すぐに是正指導を行います。違反が明らかであれば戒告書を、違反が発生する恐れがある場合は勧告書を出して、違反状態が続かないように指導します。戒告書を出した場合は、その後も期限を決めて、再度きちんと是正されたかを確認します。また旅客船の新規事業者に関しては、乗組員も陸上での勤務が長く、海上での経験が少ない人もいます。海上独特のルールを守らない事業者はトラブルにつながる恐れが高いため、監査の折に指導をしています」(泉)。

しかし、このような検査・監査を行って

距離に加え、階段の上り下りもあり、歩き回るだけでも体力を必要とします。また、船内は非常に狭い空間や高温、機械が動いている場所など、危険が伴うこともあるため気を使います。

「救命胴衣の着用方法」「非常の際の心得」といった掲示物、狭い扉の天井や足下の突起に描かれた注意を喚起するトラマーク(黄色と黒のしま模様の表示)、消火器や消火栓のある位置には、夜光塗料を塗った丸いポイントマーク表示があるか、蓄電池がある場所やペンキが置いてある部屋の扉には、「高電圧」「火気厳禁」といった表示がされているかなど、チェックする箇所は多いため、漏れがないよう次々に確認していきます。

14時30分

狭い扉をくぐり抜け、船の心臓部、エンジンルームへ。中は耳を圧するこ音を発してエンジンが回転しています。

「ここには管がたくさんあり、管の中を通っている海水、清水、油といった表示も確認します。また、油をふき取ったぼろきれが落ちていれば、引火の恐れが

いざエンジンルームへ！



エンジンルームは、狭く危険な場所もある。火気に注意を払っているか、トラマークなどの表示があるかを確認。

ありますから注意します」(泉)。

書類がきちんと整っていて、巡視でも表示などに問題がない場合は、その旨を運航労務監理官が公用航海日誌に記載します。監査は順調に進み、片道だけで終了。片道で終わらない場合は、復路でも監査を継続します。

17時30分

船上での監査が終了し、事務所に戻って正式な監査調書を作成。「船員労務監査情報照合システム」に監査結果を入力し、データを蓄積することで、他

いても、完全に海難事故を防ぐことはできません。四国運輸局が担当する海域でも、海図上の情報把握が不完全だったために、船が浅瀬に乗り上げたり、旅客船が港内施設で接触事故を起こした事例があります。特に重大な事故が発生した場合には、迅速に監査を行い、事故の原因究明や再発の防止につなげていくのも運航労務監理官の責務となっています。

「こうした海難事故が起きると、海上保安庁や運航管理者などから連絡が入ります。原因や状況、乗客の安全確認などをして、その後、海難発生時監査を行います。もしも大きな事故が起きれば、すぐに監査に出かけることもありますから、夜中でも気を抜けません」(泉)。

第三者目線での監査が 安全な航行につながる

泉は宇和島海事事務所で3年、現在の四国運輸局で3年、計6年間運航労務監理官の仕事に携わってきました。「当初はたくさんさんの監査項目をチェックすることで、頭の中がいっぱいでした。今では、監査は確認項目を守ってもらうことが趣旨ではなく、船が港を出て、目的地まで無事に航行するために必要なことだと思うようになりました」と、監査の目的に気付き、視点が変わったと言います。



四国運輸局
海上安全環境部
運航労務監理官
みちひさ
泉 真久
平成10年、当時の高知海運支局船員課に配属。運航労務監理官の仕事は、宇和島海事事務所の勤務から。平成23年から現職。

「新たな航路の安全確認を行う検査でも、単なる書類確認ではなく、年配の方や子どもでも、船に乗降する際に危険はないか、といった点に気を配って検査を行っています。事業者の方も安全には気を配っていると思いますが、私たちも第三者的な立場から監査を行い、気付いたことを事業者の方にお伝えしています。そんな積み重ねが、安全な航行に結びつき、ひいては社会の利益につながると考えています」

本州と離れ、離島の多いこの地域にとっ

訪りたいまち

か どう ぐん か み し ほろちよう
北海道河東郡上士幌町

④上士幌町鉄道資料館

旧国鉄士幌線の資料を展示。士幌線の運転席から撮影した当時の貴重な映像が大型スクリーンで見られる。4～10月開館。



⑤ひがし大雪自然館

平成25年5月1日にオープン。入館無料。



ひがし大雪アーチ橋ガイドマップ



①第三音更川橋梁

(登録有形文化財)

昭和11年に日本で初めて完成した径間30mを超える鉄筋コンクリート鉄道橋である。



②第二音更川陸橋

音更川の断崖絶壁に沿った川を渡らない陸橋。



③第四音更川橋梁と角田事務局長

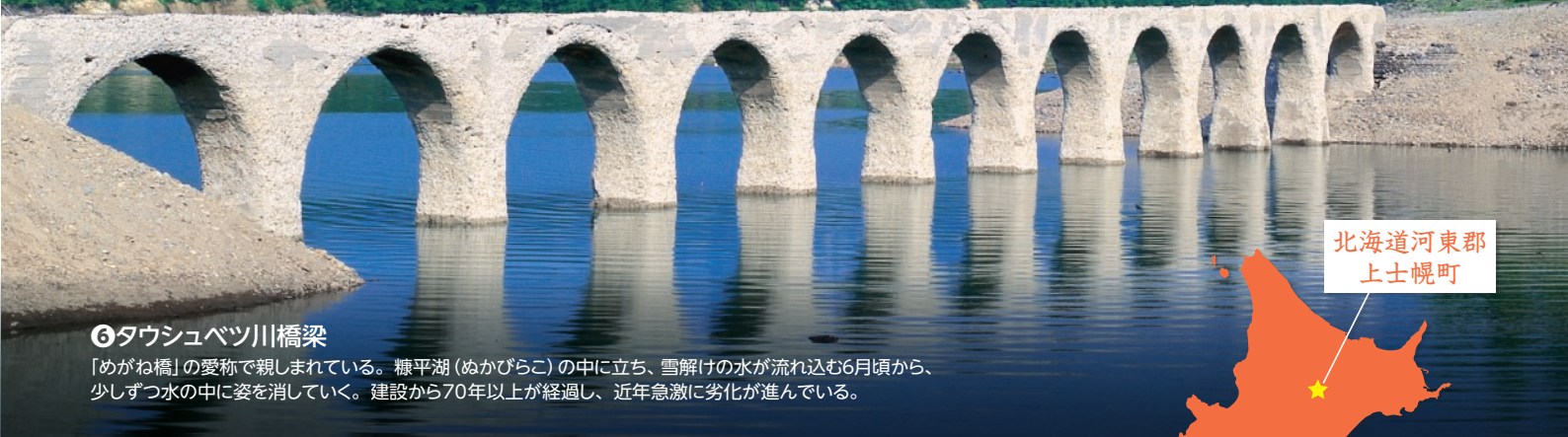


⑨第六音更川橋梁

(登録有形文化財)
緩やかなカーブを描いている。

⑥タウシュベツ川橋梁

「めがね橋」の愛称で親しまれている。糠平湖(ぬかびらこ)の中に立ち、雪解けの水が流れ込む6月頃から、少しずつ水の中に姿を消していく。建設から70年以上が経過し、近年急激に劣化が進んでいる。

北海道河東郡
上士幌町

観光資源に恵まれた町

北海道中央部に日本で一番広い国立公園「大雪山国立公園」がある。その東山麓に位置し、森林が約7割を占める豊かな自然を誇るのが上士幌町である。

ニペソツ山をはじめとする山々、温泉、スキー場、ゴルフ場、牧場などさまざまな観光資源に恵まれている。特に観光客に人気があるのは、タウシュベツ川橋梁をはじめとした旧国鉄士幌線「コンクリートアーチ橋梁群」だ。コンクリート造りのアーチ橋が古代ローマ時代の水道橋を彷彿とさせる。

「ひがし大雪アーチ橋友の会」

旧国鉄士幌線の線路は昭和初期から中期にかけて造られた。昭和62年の廃線以来放置されていたが、平成9年、ついに解体の危機に。そこで保存に乗り出したのが上士幌町民を中心とした現在のNPO法人「ひがし大雪アーチ橋友の会」(以下「友の会」)である。

観光資源をよみがえらせ、ゆったり過ごす場を提供する。人を呼び、交流し、また訪れる。住民と町が手を取り合って誰かの第二の故郷を目指す。

「このまちが好きだからみんなで創ろう元氣まち上士幌」

下、「友の会」である。友の会はアーチ橋の素晴らしさを理解してもらうために現地見学会や保存を要望する署名運動など地道な活動を行い、34のアーチ橋梁群と線路跡の保存を実現させた。現在は上士幌町鉄道資料館の運営も行う。アーチ橋梁群をこよなく愛する友の会。会報誌「めがね橋だより」の発行や、旧士幌線スケッチコンテスト、アーチ橋遠足などイベントを通してアーチ橋の魅力を発信し続けている。

会員の募集を随時行っていて、会員同士で、活用についてのアイデアを出したり、保存に関する調査を行ったりと精力的に活動している。平成24年度には「手づくり郷土賞(一般部門)」を受賞。アーチ橋梁群を活用したまちづくりが高く評価された。今、特に力を入れているのが「第三音更川橋梁の保全と「鉄路再生事業」。

第三音更川橋梁は桜、紅葉の名所「泉翠峡」という景勝地に架かり、周囲の景観と調和して静かなたたずまいを見せる。



ひがし大雪高原鉄道の足踏みトロッコ

旧国鉄時代に使われていたものをJR北海道より譲り受け、7月～10月に有料で運行。

ではなく、上士幌町の生きた観光資源として活用できるような活動をしていきたい(角田久和 友の会事務局長)。

人とのつながりを大切にする「上士幌」

観光資源に恵まれたこの町でも、昭和30年にピークだった人口は年々減少傾向にあり、また観光客の数も減少しつつあった。

北海道では、団塊世代が退職後に第二の故郷を探す動きを契機ととらえ、平成17年に「北の大地への移住促進事業」を展開した。上士幌町はパートナー市町村として参加。都市からの人的誘致、交流を図り、町を元気にするために町、商工会、農協、地元企業などが協力し、現在のNPO法人「上士幌」を設立した。町の魅力は、都市型のスピード社会と対極にあるスロータウン。ゆったりと過ごせる町の良さを最大限に活かす「移住・二地域居住」を提案している。まず、都市住民のニーズを把握する調査を実施。移

手づくり郷土賞とは

国土交通省では、地域の魅力や個性を創出している良質な社会資本及びそれと関わりを持つ優れた地域活動を一体の成果として発掘し、大臣表彰を行っています。好事例として広く紹介することにより、各地の個性で魅力ある郷土づくりに向けた取り組みが一層推進されることを目指しています。現在、平成25年度「手づくり郷土賞」を募集中です(平成25年9月2日まで)。

MLIT レポート 北海道

全国各地で働く国土交通省職員が地元を紹介!

Reporter
北海道開発局
帯広開発建設部
土地改良情報対策官
成田 敏彦



北海道開発局では、北海道各地で取り組む住民主体の地域活動を支援し、農山漁村の発展に寄与することを目的に、平成13年から「わが村は美しく北海道」運動を推進しています。「景観」「地域特産物」「人の交流」を3つの大きな柱としています。

運動の一環として、平成14年から2年に1度、コンクールを実施しています。北海道内各地で「わが村」の魅力と活力を高めようとする地域住民団体の努力と行動に光を当て、全国に伝えるとともに、活動を支援し波及させていくことにより地域の新たな発展を目指すものです。

この運動を通じて、北海道にあるたくさんの「いいもの」をできるだけ多くの人に伝えていきたいと思っています。

「わが村」の小さな取り組みが、北海道の豊かな未来を築きます！

本運動に関する情報や地域活性化に関する情報をメールマガジン、ウェブサイトでも配信しています。

●第6回(平成24年度)コンクール優秀賞受賞団体(順不同)



検索

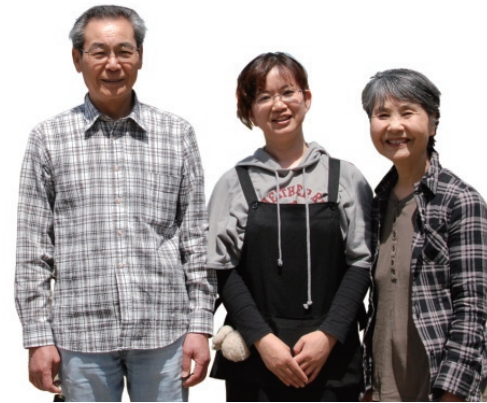
「わが村は美しく北海道」運動 http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_nogyo/wagamura/
facebook『わが村は美しく北海道』みんなのページ』 <https://www.facebook.com/wagamura>

住してもらうには、住む場所を安定的に提供するほか、滞在中の生活や観光に関する情報、相談窓口が必要だといことが分かった。

今では、上士幌コンシェルジュが、移住相談から町の観光案内、特産品の展示販売などの情報発信を一手に行つ「かみしほろ情報館」の運営を行う。窓口を一本化する事で、相談しやすく、必要なサービスをスムーズに提供できるようになった。

コンシェルジュは、移住者が孤立しないよう心配りも忘れない。仲間同士の集まりやイベントへの参加を呼び掛けるなど、交流を欠かさない。また、移住に先立ち、実際に町での生活をモデルハウスで体験してもらう「ちょっと暮らし生活体験モニター」の受入れを行っているが、このモニター体験者も近況報告にコンシェルジュを訪れたり、と交流は続いている。平成25年度のモニター応募数も順調に伸びていて、6月時点で27組56名の予約に、町としては手心えを感じている。

担当の川村昌代さん自身は上士幌町出身。20年近く町を離れたことで、上士幌を客観的に見る事ができたという。「外に出て町の良い面もそうでない面も分かりました。町の人たちが住みやすくて笑顔なら、訪れる人たちも良い町だと思う」



上士幌コンシェルジュ川村さん(中央)と二地域居住をしている佐田さんご夫妻

「生活体験を通じて、上士幌町を気に入ってくれたらうれしいです」(川村さん)。佐田さんの奥様は近くで採れる山菜でのお料理が得意。

二地域居住とは

都市住民が農山漁村などの地方部にも同時に生活拠点を持つこと。国土交通省では、多様な人口形態に視点を置き、地方部への人の誘致・移動を推進することを目的に、総合的な情報提供体制の整備や普及活動を実施しています。

上士幌町は「住民が主役のまちづくり」に力を入れてきた。住民がこの町に愛着を持つことで元気な町を創り出す。移住者自身にも住民の一人として、まちづくりに参加できる環境を整えつつある。

住民一人ひとりが行政と一緒に、自分たちの力で、10年20年先に「住んでよかった」と思える町にしていくのだ。

実際に大阪と二地域居住をしている佐田さんご夫妻は「上士幌町は人が温かく、とても住みやすい町です」と語る。

人の交流で町を元気に



かみしほろ情報館
上士幌町の総合案内所。



生活体験モニター用の
モデルハウス1号棟
必要最低限の生活備品付き。



第40回北海道バルーンフェスティバル
平成25年は8月8日(木)～8月11日(日)の4日間開催。上士幌町 航空公園にて。

ぬかびら源泉郷 大雪山国立公園と糠平湖に囲まれた静かで雄大な自然を感じられる温泉地。源泉掛け流しの温泉を楽しめると人気。冬はすぐ近くのスキー場へ!



中村屋 朝、地元上士幌町の「十勝しんむら牧場」の牛乳を部屋の前で届けてくれる気配りがうれしい。

上士幌で採れた山菜、豆、じゃがいもなどを使った朝食。



若女将ご夫妻と犬のあずきちゃん。

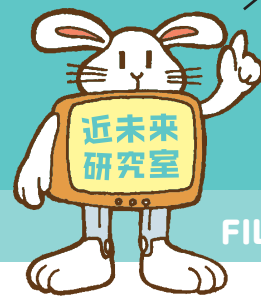


ほろんちゃん 上士幌町のゆるキャラ。ご当地キャラ総選挙2013にエントリーされました!

上士幌町はフェイスブックやブログサイトを運営し、人々との交流に役立てている。

かみしほろん .com (ブログサイト)
<http://www.kamishihoron.com/>

上士幌町フェイスブック
<https://www.facebook.com/kamishihorotown>



21世紀の豊かな社会を創る道、川、港、建物、船、車、鉄道、航空などの新技術が、見えないところで私達の暮らしを支えています。

近未来研究室

FILE 01

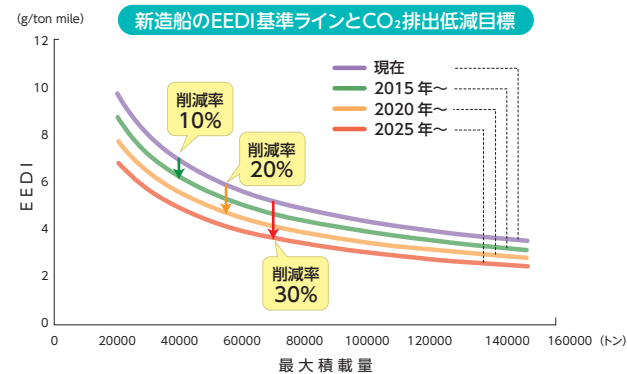
未来につながる研究をご紹介します

国際規制作成への貢献&民間企業との協力によって環境に優しい船を造る!

●船も地球環境に協力!

船からの温室効果ガス排出量を削減するため、IMO(国際海事機関)で新たな取り組みが決定され、平成25年1月から始まりました。

EEDI※が規制値を超えると国際運航する船舶として使用できません。今後、削減率は段階的に引き上げられ、最終的に30%の削減を求められる大変厳しいものです。



ところで

※EEDIって何?

新造船時のエネルギー効率設計指標。新造船時、1トンの貨物を1マイル(約1,852m)運ぶ時に発生するCO₂排出量を計算して示す指標のこと。

$$\text{船舶のCO}_2\text{排出設計指標} = \frac{\text{CO}_2\text{排出量 aグラム}}{1\text{トン} \times 1\text{マイル}}$$

CO₂排出量 = aグラム



研究者紹介

独立行政法人 海上技術安全研究所
宇都 正太郎 (右)
流体設計系 系長
岸本 雅裕 (左)
EEDIプロジェクトチームリーダー

研究者であるため、船の本格設計に大変苦労しました。研究の成果が海上の試運転で実証されたときの達成感はひとしおです。

研究の概要

●豊富なデータを世界へ提供

当所で解析した結果を提供し、IMOで作成される国際規制に貢献しています。

●理想の船を追いかけて

EEDI値を下げるため、民間企業と協力し、研究を行っています。船の抵抗を少なくし、効率良く走るよう、①船の寸法(船幅や喫水の深さ)②船の形③プロペラの形などを変えて設計し、コンピューターでシミュレーションを行います。

最終的には、船の模型(6m程度)を作成。長さ400mある試験水槽で走らせてシミュレーションの結果を確認し、新たな船の設計に生かします。



▶模型船

それでどうなる?

船舶技術の総合力は造船・海運国である日本がリードしています。日本の技術力が生かされた地球環境に優しい船が世界の海を走り回る日は近い!!

●研究所概要

海上交通の安全と効率の向上、海洋資源及び海洋空間の有効利用、海洋環境保全のための技術に関する研究などを行っています。



独立行政法人 海上技術安全研究所
National Maritime Research Institute

〒181-0004 東京都三鷹市新川 6-38-1 TEL: 0422-41-3005 FAX: 0422-41-3258
<http://www.nmri.go.jp/>

教えて! 国土交通省

国土交通省に寄せられた、普段の生活で感じたふとした疑問や質問などを紹介するコーナーです。

Q uestion

地図について学ぶには?

地図ができるまでを夏休みの課題研究にしたいと思っています。勉強方法のアドバイスをお願いします。

(山梨県・中1)

A nswer

国土地理院の担当者に聞きました。

茨城県つくば市にある国土地理院は、自ら土地を測量し、基準点や地形図など国土の基盤となる地理空間情報を整備、更新、提供する国家地図作成機関です。地理空間情報の国際標準化、宇宙測地^{*1}など国際的事業の参画、地殻変動の監視なども行っています。



地図と測量の科学館

併設する「地図と測量の科学館」は、地図や測量に関する歴史、原理や仕組み、新しい技術などを総合的に展示している施設です。楽

しみながら地図を学ぶことができるため、中学校や高校の修学旅行コースにもなっており、年間約5万人が訪れます。

吹き抜けのホールには「日本列島空中散歩マップ」を敷いています。専用の「赤青めがね」で見ると富士山をはじめとする山々やフォッサマグナ^{*2}、中央構造線^{*3}、活断層^{*4}などの詳細な立体感、東日本沖海底の海岸線にほぼ並行して存在する日本海溝、その海溝にいまにも飲み込まれそうな海山^{*5}など迫力ある



日本列島空中散歩マップ



日本列島球体模型

三次元体験ができます。

屋外では、「日本列島球体模型」が人気です。高さ約2m、直径約22mの球体の一部があり、表面には20万分の1地勢図が陶板に焼き付けられています。この上に立って見下ろす日本周辺は、高度約300kmの人工衛星から見た地表に相当するもので、地球の丸さや日本の領域の広さなどを体感できます。

“地球に向かう”、“情報に向かう”、“暮らしに向かう”などのテーマを設け、映像やパネル、機器などいろいろな視点から地図と測量に触れることができ、さまざまな企画展示も行っています。

地図を勉強したい方、興味のある方のご来館をお待ちしております。



地図記号ボードがたくさん!

- ※1 宇宙測地…人工衛星によるGPS測量や、遠く離れた天体からの電波を使ったVLBI測量などで地球の姿とその変化を観測する。
- ※2 フォッサマグナ…地層や岩石などの地質学的な溝。
- ※3 中央構造線…日本最大の断層。
- ※4 活断層…最近まで繰り返し地殻運動を行った形跡があり将来の活動が推定される断層。
- ※5 海山…海底にあって周囲より高く盛り上がっているが、山頂は海面下にある地形。

▶ 国土交通省 国土地理院「地図と測量の科学館」 <http://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>

01

8月から新高速乗合バスの運行がスタート！

利用者の信頼回復に向けて官民一体となって全力で取り組みます

高速ツアーバスは、価格面や予約のしやすさなどから多くの方に利用されてきました。しかしながら、平成24年4月に発生した関越自動車道での痛ましい事故で浮き彫りとなったように、安全確保の責任が曖昧であるとの問題点がありました。また、停留所がないため乗り場がわかりにくいことやターミナル駅周辺での違法駐停車なども指摘されていました。

そこで、国土交通省では、事故を重く受け止め、平成25年4月2日に「高速・貸切バスの安全・安心回復プラン」を策定。2年間にわたりバス事業のさまざまな安全対策を強化していくこととしました。

その一環として、高速ツアーバスを平成25年7月

末までに新高速乗合バスへ移行・一本化させ、8月からは、厳格な安全基準をクリアした新高速乗合バスの運行が新たにスタートします。国土交通省では、安全で便利な高速乗合バスを安心してご利用いただけるよう、引き続き、事故の再発防止と利用者の信頼回復に向けて、官民一体となって全力で取り組んで参ります。

高速・貸切バスの安全・安心回復プラン

検索

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000130.html

お問い合わせ

自動車局安全政策課、旅客課
TEL：03-5253-8111（内線 41624、41233）
FAX：03-5253-1636



02

「ゆずり合い せまい道路も 広くなる」

平成25年度「道路ふれあい月間」(8月1日～31日) 入選標語決定！

最優秀賞

小学生の部

「ゆずり合い せまい道路も 広くなる」

中学生の部

「踏みしめて 未来へつづく 道がある」

一般の部

「おかえりと 道の向こうで 待つ笑顔」

優秀賞

小学生の部

「『おはよう』の 声がいっぱい 朝の道」
「のびのびと ゆめに向かって 歩こうよ」

中学生の部

「この道を 歩けばいつも 笑顔あり」
「新しい 人との出会い つなぐ道」

一般の部

「『ありがとう』道路が救う 命ある」
「いつだって 道といっしょに ある暮らし」

樋口 莉奈さん(山梨県 南アルプス市立八田小学校)

大山 藍さん(茨城県 小美玉市立玉里中学校)

中川 潔さん(福井県 福井市)

中谷 麗夢さん(大阪府 豊中市立野畑小学校)

岩澤 真夏斗さん(秋田県 大館市立釈迦内小学校)

加藤 広菜さん(神奈川県 山北町立三保中学校)

近藤 海太さん(静岡県 静岡市立城内中学校)

星野 典比古さん(栃木県 小山市)

内河 裕信さん(神奈川県 相模原市)

平成25道路標語

検索

http://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_000359.html

お問い合わせ

道路局道路交通管理課
TEL：03-5253-8111（内線 37424）
FAX：03-5253-1617

03

「平成24年度国土交通白書」を7月2日に公表しました！

20代、30代の「若者」は、今後、社会の中核を担う世代であり、彼らの暮らしが日本の将来を左右すると言えるでしょう。

今回の国土交通白書では、「若者の暮らしと国土交通行政」をテーマに、若者の働き方、住まい方、動き方などに見られる過去と現在の暮らしの変化について分析を行いました。

進学、就職、結婚、子育てなどさまざまな面で変化が見られる中、生き生きとした暮らしを送るため

にどのようなことが求められているのでしょうか。これからの時代を生きていく人々の暮らしを支えていくため、国土交通行政が目指すべき方向性を明らかにしました。

平成24年度国土交通白書

検索

<http://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h24/index.html>

お問い合わせ

総合政策局政策課政策調査室
(情報提供窓口) TEL：03-5253-8111（内線 24282、24283）
FAX：03-5253-1548



①魚介類やお土産物のお店は市場のよう。②ポートレースの様子。③港を望む大露天風呂。④本場ロシア料理。⑤海鮮丼。

館長に聞きました！

平間英光 館長



「わっかない海の駅」稚内副港市場は、市民と観光客の方が一体となって楽しめる新名所として、平成25年3月に海の駅に登録されました。

港ではポートレースやわっかないソーラン祭り、館内の港ギャラリーでは吹奏楽コンサートやロシア民謡などを披露してくれるロシアアンサンブルなど、さまざまなイベントも行っています。是非お越しください。お待ちしております！



特別編 海の駅

わっかない海の駅

Wakkanai Uminoeki

北海道

海の駅で最北の地を味わう

日本の最北端にある海の駅「わっかない海の駅」は、稚内市ポートサービスセンターと稚内副港市場の2つの施設を併せ持ちます。

稚内市ポートサービスセンターは、休憩室や多目的ホール、身障者用トイレなどを備えています。市民の皆さんはもちろん、港を訪れる観光客、船員、港湾関係者など広く利用することができます。

稚内副港市場は、温泉、土産物屋、お食事処、ラジオ局、理髪店などが入った複合施設です。観光ギャラリーとして、昭和の記憶が甦る商店街やかつての樺太への入り口だった稚内港駅舎、当時樺太にあった旧豊原中学校などを再現。宗谷やサハリン(旧樺太)の観光情報も充実しています。

またお食事処では、生うに、生ホタテなど季節の海の幸や、宗谷の塩を使った塩ラーメン、海の向こうの本場ロシア料理など、地元自慢の料理が盛りだくさん！

「わっかない海の駅」で、海と大地をたらふく味わいませんか？

DATA

- 名称：稚内副港市場 / 稚内市ポートサービスセンター
- 所在地：北海道稚内市港1-6-28 / 北海道稚内市開運2-3-1
- TEL：0162-29-0829 / 0162-23-4688
- 営業時間：9:00～17:00 (7～9月は9:00～19:00)
- 定休日：毎週月曜日、祝祭日、年末年始(12/31～1/5)
- ホームページ：<http://www.umi-eki.jp/uminoeki/wakkanai.html>

ACCESS MAP



たなべ・うちのうら海の駅

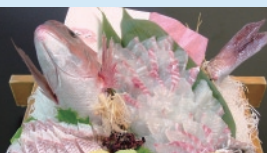
和歌山県田辺市

<http://www.marucho.co.jp/fish/>

青い海と緑の山々。自然が一杯！海上釣り堀で釣った魚は、隣接する海鮮問屋でいただけます。舟盛り、焼き物、煮付け、鍋など。新鮮なお魚料理の数々に舌鼓をうつ……なんていかがでしょうか？



活けイカのお刺身



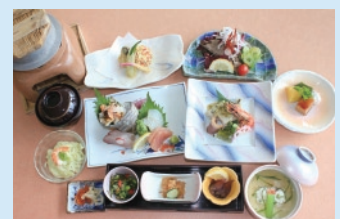
鯛の舟盛り

のうみ海の駅

広島県江田島市

<http://www.noumi-lodge.com/>

全国的にも珍しい海の上に建つ宿。満潮時には客室から釣り糸を垂らすこともできます。宿泊の方は、会席料理を。日帰り宴会やランチもあります。瀬戸内海で獲れた魚介類をふんだんに使用した料理をご提供します。



旬の味覚をふんだんに取り入れた会席料理

おすすめの海の駅

海の駅へ海の幸を求めて